



地区住民にとっては4年振りの大運動会 “負けるなー。引けー!!”

「島のひかり」ホームページアドレス

<https://shimanohikari.jimdofree.com/>



発行

カトリック浦頭教会  
広報委員会  
五島市平蔵町2716  
TEL 0959-00072  
印刷・(株)才津印刷所

## コロナ禍の中で

主任司祭 工藤 秀晃

二〇一九年の終わりごろに発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に広がり、言い知れぬ恐怖感とともにそれまでの私たちの日常生活・信仰生活の様式を一変させました。あれから二年近くが過ぎようとしている今、これまでのことを振り返ってみると、先ず、昨年の二月二十八日、長崎教区より新型コロナウイルス感染症への注意喚起に引き続き、最初の「公式公開ミサ中止」が発表され、翌二十九日から三月十四日までの期間、一人でミサを捧げることとなりました。それまで、ごくごく当たり前のこととして毎週日曜日に教会に集い、ともにミサを捧げて来た私たちにとって「教会の公の名のもとに、ともに主日に集うこと、ミサを捧げることが禁止される」という状況は、これまで経験したことがない出来事だっただけに、大袈裟ではなく、本当にとてつもない衝撃が駆け巡りました。

次いで、三月二十二日にいっ

たん公開ミサが再開されたものの、新年度を迎えた四月三日には再び三十日まで中止が命じられ、典礼の頂点であり、一年で最も盛大にお祝いするはずの主の晩餐・主の受難・主の復活をともに挙行することができないもどかしさとともに、キリスト者としての根幹を根底から揺さぶられる思いがしました。

さらには、年が明けた二〇二一年一月六日に、県下に特別警戒報が発令され、十七日付で二十四日から二月七日までミサ中止。八月十九日にも、長崎県独自の緊急事態宣言により二十一日から九月十八日まで中止となり、浦頭小教区としては合計四回にわたって公式公開ミサの中止を余儀なくされることになりました。

この公開公式ミサ中止の期間、皆さんはどのようにお過ごしになったのでしょうか？きつと戸惑いつつも、祈祷書にある「ミサにあずかるを得ざる時の祈り」や、その日・その時にできるお捧げをしながら過ごされたのではないかと思います。私はと言え、主日も平日もこれまでと

同じ時間にミサを捧げることに努めていました。というのは、変わることが求められる中であって、変わらずいつもの時間に聖堂からこぼれる灯りが「ひとつのしるし」となるような気がしたからです。この先、状況がどのようになって行くのかは分かりませんが、それでもやっぱり、「いつものように」を続けたいと思います。なので、考えたくはありませんが、再び公開ミサ中止となった早朝に、聖堂に灯る明かりがありましたら「あっ、うちの神父さんが！」と思っていただけたら幸いです。

## 景観整備・環境問題 〜 私たちができること〜

十月十七日、例年十月に行っている堂崎・宮原・半泊教会奉仕作業と「すべてのいのちを守るための月間」の環境問題への取組みとして昨年度から行っている、堂崎教会周辺の海岸清掃を合同で行いました。当日は壮年会、女性会、シメオン・アンナ会、おくらまちづくり協議



会会員の協力のもと、涼しい気温であったこともあり、無事に作業を終えることができました。ただ、所々堂崎の松枯れが見受けられ、以前問題になった時のように枯れないか心配な部分もありました。また、当日回収した海岸ゴミは四十七袋（四十五リットル）と、袋に入らない粗大ゴミが数多くありました。昨年度は作業の前月に大型台風が通過した影響からか、大量の流木が岸に打ち上げられており二日掛かりの撤去作業であり大変でしたが、今年も思いのほか海

岸ゴミが多かったと思われる。分別をすると発砲スチロール、漁具のフロート（浮き）、ペットボトルが多く、残念な事にはとんどが日本製でした。

昨今、世界的にプラスチックゴミを削減する取り組みが数多く行われており、海に面した長崎県ではメディアを通じて漂着ゴミ清掃活動を度々紹介しています。実際、多くの漂着ゴミを目の当たりにすると、日常生活の中で意識変化を持って行動する必要があると改めて考えさせられました。未来の為、みなさんでちょっとした行動を持続していければと思います。



## 夏休みの朝ミサと

### ラジオ体操

私が小学生の頃の夏休みは町内ごとに決められた場所に集まってラジオ体操を行い、カードにハンコを押印してもらってから帰宅し、朝ごはんを食べていた記憶が懐かしいです。今年浦頭教会では少子化、コロナ禍でラジオ体操を目的に集まる機会が無い為、朝ミサ後に行う事となりました。ミサ後の六時三十分前に子供たちは神父様の工藤印を押してもらい、元気に第二体操まで運動していました。久しぶりに一緒にラジオ体操したら気持ち良かったです。



## 中村長八神父様の

## ドキュメンタリー

## 作成進む

ブラジルの大学生グループが、中村神父様のドキュメンタリー作品を手がけています。

今年十一月の全世界に向けてのネット配信。それに向けて着々とプロジェクトは進んでいるようです。その過程において何度か島のひかりで取り上げさせてもらった、中村長八神父様の列福に力を注いでおられる青木勲神父様にインタビューがなされたという事です。

そのインタビューの内容が中村神父様に関する興味深い話も含まれていますので、連載し、皆様に読んでもらいたいと思います。



## インタビュー概要

二〇二一年七月十六日（金）  
日本時間午前九時三十分から十一時まで、ブラジル国サンパウロ州の西北の中心都市、プレジデンテ・プルデンテ市立大学の「デジタル情報・戦略学科」の学生とのテレビ会議です。五月二十四日以来、レティシア・ペレイラさん（大学生）から、ドミンゴス中村長八神父の列福調査の進捗状況についての問い合わせの電話がそもそもの始まりでした。その後、中村神父についてのテレビドキュメンタリーを同学科の卒業制作として作成する意向があるので、協力するよう依頼されました。

プレジデンテ・ブルデンテ市はサンパウロ州の西北最後の中心都市であり、中村神父が帰天したアルヴァレス・マシャード市から十キロしか離れていないこと、約百キロ先にあるパラナ川を渡ると、マット・グロソ州に繋がる物流と農作物の集積

地であり、多くの日系の農工商の経営者が住み着いて日系人との交流があります。それだけに、日本人の最初の宣教師「ドミンゴス中村長八神父の列福調査」に関するビッグイベントとして、大勢の視聴者を期待して挑戦しているようです。インタビューは進行係のマルコ、質問者のカルロスとレティシア、そして録画担当のジョアンの四人で、大學生とはいえ将来の放送関係者として堂に入ったもので緊張したのは私の方でした。当初、一時間の収録の予定がカメラアングルや音響の調整で結局二時間かかり、彼らにとっては夜の十一時過ぎに終了しました。



アルヴァレス・マシャードにあるドミンゴス中村神父の墓

質問内容は、まとめると四点到に絞られます。  
一、どのようにしてあなたは最初に「ドミンゴス中村長八神父」を知りましたか。

◆一九七〇年当時、長崎の海星学園に奉職中、五島の教会巡りをした際に浦頭教会の司祭館にあった、当教会出身者の司祭第一号の中村長八神父の写真を目にしました。その足で堂崎天主堂の日本二十六聖人の殉教者の資料と、中村神父がローマ教皇ピオ十一世から下賜された「グレゴリオ大褒賞」の勳章を拝受されたことを知った時が最初の出会いです。この時は、まだ自分が将来ブラジル宣教（一九七七年から二〇一一年まで）に向き、しかも中村神父の活躍舞台と同じ宣教地域に直接関わるとは夢にも考えていませんでした。その意味で、神様のみ摂理の不思議を深く感じています。

—以下次号へ—

# 信仰の宝

## 発見

イエス・キリストを信じ洗礼を受けた私たちですが、発見していない宝がまだまだあります。

### 一 洗礼名の聖人を知る

ある日、長崎の信徒からメールがありました。「先日小教区で信者のおばあちゃんが亡くなりましたが、子供達は母親の洗礼名を知りませんでした。ただマリアさまの名前だけは覚えていたようで、何やら話した後にマリアでいい、マリアにしようということになりました」。

結婚を機に受洗し、典礼や教会奉仕に努めているTさんは、何か寂しく悲しかったそうです。

私たちは聖人、特に洗礼名の聖人のことをどれくらい知っているでしょうか。大人になって洗礼を希望する人の中には、自分で調べて洗礼名を決める人がいます。現代の教会で列聖された聖人、聖ヨハネ二十三世や長崎に來られた聖ヨハネ・パウロ二世を選ぶ人もいます。

聖人を知ることとは、信仰の宝を発見することにつながります。

聖人たちはイエス・キリストを愛し命をささげた人達、しかも私たちと同じ人間として地上で生き、苦しみを耐えた人達です。

もちろん、私たちのそばで一生懸命生き、イエスさまに人生を捧げた「名もない聖人」がいることも忘れてはなりません。イエスの復活を信じて亡くなった

家族や親族も永遠の命に繋がっています。主の復活を信じ、天国に迎えていただけするように願いながら、洗礼名の成人に取り次ぎを願いましょう。

\*せめて両親や兄弟の洗礼名を覚えておきましょう。

\*自分の聖人について知りたい方は、ぜひ誰かに尋ねてください。きっと教えてくれますよ。



## 教会の坂道 リニューアル?

八月二十二日、青年会主催で県道沿いの坂道の清掃を行いました。当日は議長をはじめ、福江清掃社の方々のご協力をいただき、高圧洗浄機で無事にキレイにすることが出来ました。以前より見た目は明るく、地面は滑りにくくなり、皆さんにも安心して坂道を利用してもらえると思います。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



## 特別養護老人ホーム 聖マリアの園からお願い

・おしり拭きに使うために、古着などを集めています。ご自宅などに眠っている物がありませんでしたら、ご協力をお願いします。

・水気を吸わないナイロン系の衣類、セーターなど毛糸物以外でしたら、何でも良いです。

\*例えば・・・タオル、バスタオル、シーツ、肌着、Tシャツ、パジャマ、布おむつ、綿生地衣類



回収箱は教会内・神羊館入口に置いてあります。

# 浦頭小教区の歴史を追って

V

宮原教会の大規模改修工事を

終えたのが昭和四十六年、当時の浦頭教会の主任司祭、野下千  
年神父様によって祝別されました。なお、改修工事前の宮原教会は、内部が障子で仕切られていて、それを開かないと祭壇が見えなかったそうです。

前号で記した伝導婦、中島ヤナさんは、素朴な村人に神の道を説き続けますが、五島の玉之浦での伝導の旅ながら、道端に倒れ伏して天国へ召されたそうです。



宮原教会から観音平地区を通り、車一台通るのがよとの細い山道を抜けると、半泊の美しい入江が広がります。半泊教会は千九百二十年、大正九年から

聖堂建築が具体化し、信徒は近くの山から資材となる木を切り出したそうです。建築資金は司教の配慮により、アイルランドから送ってもらった寄贈金が使われたそうです。

柱やタルキにあてる杉材は中五島の神之浦から運ばれたそうです、信徒は自分達で用意した船に食材を持ち寄って積み込み当地に向かいました。伐採作業には五日間を要したと伝えられています。その情熱のもと、当時の教会建築の第一人者、鉄川与助を中心にして、教会は、千九百二十二年、大正十一年に完成しました。献堂式はコンパス司教のもとで行われ、基金を送ってくれたアイルランドの守護の聖人・聖パトリックに捧げられました。



## “ありがとう”

今回も、次の方々より沢山御寄附を頂きました。心より御礼申し上げます。

- 北九州市 朝長 真美 様
- 北九州市 松井 知美 様
- 北九州市 赤尾 良樹 様
- 福岡市 匿名 名 様
- 五島市 匿名 名 様
- 神戸市 峯下 喜美代 様
- 五島市 匿名 名 様
- 五島市 匿名 名 様
- 千葉市 坂本 砂子 様
- 千葉市 入口 春男 様
- ◎転入
- 山本 誠喜さん
- 長崎・西町教会より9月(堂崎地区へ)
- ◎転出
- 鍵原光恵さん・永太さん
- 福江教会へ9月

## 元気にロザリオ

十月に入って教会はロザリオの月で、月曜日から金曜日まで夕方五時よりロザリオの祈りが始まっています。十名位の小学

生が元気よく先唱し、素晴らしい聖母マリアに捧げる祈りはそこにマリア様が現われるのではないか!!--と思うくらい。しかし、大人の方が少ないのが少々さみしい。

## ふる里だより

### 大運動会



十月三日、奥浦小学校・中学校の子供達に地区住民も加わり四年ぶりに本来の形の運動会が行なわれました。コロナ禍がまだまだ潜みつつも、沈静化している中、慎重を期し、食事なし

の午前中だけの実施。

子供達は観客の多さも相まってモチベーションは最高潮。気持ちの入った踊りには、「アンコール」の掛け声が入りました。

### 今も現役。パワフル89歳



今年も田植えが出来た！と生きいき語ってくれた浦頭に住む木口ヤエ子さん。二人の息子さんの

の献身的な支えもあり、棚田も美しく、普段からバス停付近の草払いやガードレールを磨いたりして、少しでも地域に貢献出来ればと常に前向き。お花が大好きで、良くお墓も磨いておられるヤエ子さん。いつまでも元気です！

### 子供達ニュースポーツに夢中

八月八日（日）「ペタンク&ドッジビーを楽しもう！」を体育館で行いました。室内用のペタンクは、グラウンドとは違っ

てボールがよく滑って狙ったとおりに行かず、なかなか点数が取れませんでした。ドッジビーでは、子どもたちみんなの動きが良く、素早く反応していました。奥浦小の先生方、子ども教室実行委員、保護者の皆さんも一緒に楽しむことができました。



### 旅立ちと出会い



長年老人会の会長を務めて下さった浦頭の中里徳美さんが八月

月末、愛知県の娘さんと同居する事となった。老人会を始め、近隣世帯の多勢の見送りで旅立たれた。自宅は空き家バンクに

登録して直ぐ入居者が決まり鹿児島より移住された延山様夫妻がすでに地域に溶け込んでいる。中里さん、新しい出会いを皆様と共に心より応援致しております。有難うございました。

### 浦頭地区景観整備

お盆前から続く長雨の合間の八月二十二日、旧慈恵院跡地と宮原展望所周辺の除草作業をおくうらまち協にて行いました。当日も雨雲が垂れ込める状況で蒸し暑い中の作業となりましたが、チームワークを発揮し、無事に終わることができました。しかし、除草剤散布以外で生育を抑える方法ないですかね？



旧慈恵院跡地に残る“マルマン・ペルー像”

### 編集後記

久しぶりにかたし採りをしました。竹で作ったかぎを実の方に高々と伸ばすと頭がふらふらします。「まるでバチカン博物館の天井画を見ているようだ」と話しました。首から肩が痛くなりませんが美味な椿油の採れる宝の実です。一個たりとも残してはなるまいと懸命に落としました。でも欲張ると木から落ちたり転んだりするものです。木守りの柿ならぬ少しの実を残して来年に備えました。

彼岸花も咲きほこり秋の虫は草の葉を揺らします。足早に過ぎ去る季節、美しい自然に囲まれた故郷にも時折、コロナ感染の情報が流れ、影を落とします。終息のめどが立たないまま年を越すのでしょうか。予測できない事態にも希望を失わず予防に努めたいものです。もちろん創造主である御父に、この苦難を乗り越えることができるように祈ります。

(Sr木口直恵)